

財務会計研究

担 当 者 和田 伸介

開講時期 後期

単 位 2

●講義の概要

世界的に国際財務報告基準を採用する企業が増える傾向にある。日本においても、自国の会計基準のあり方をふまえ、経済社会への影響や制度へのインパクトを検討し、適切な対応が議論されている。そこで、複雑化し多様化する企業活動やその経営実態を適時的に把握するために、財務諸表の内容を考察し、分析する手法を理解することが重要である。

なお、定評のある基本的な英語文献も用いる予定である。

●講義の到達目標

本講義の目的は、財務会計論の理論的な枠組みを理解し、貸借対照表、損益計算書およびキャッシュフロー計算書の役割を検討し、財務諸表の分析方法を修得することにある。また、会計基準の国際的な統合に向けた議論が各国において展開されている状況において、財務会計論における基本的な考え方や実践的なスキルを身に付ける。

●講義計画

- 第1回 企業会計の基礎
- 第2回 会計制度の体系
- 第3回 財務会計と管理会計
- 第4回 損益計算書の役割（1）
- 第5回 損益計算書の役割（2）
- 第6回 損益計算書の分析
- 第7回 貸借対照表の役割（1）
- 第8回 貸借対照表の役割（2）
- 第9回 貸借対照表の分析
- 第10回 キャッシュフロー計算書の役割（1）
- 第11回 キャッシュフロー計算書の役割（2）
- 第12回 キャッシュフロー計算書の分析
- 第13回 課題発表と質疑応答（1）
- 第14回 課題発表と質疑応答（2）
- 第15回 総括

●成績評価基準と方法

授業への参加、報告内容およびレポートなどをもとに総合的に評価する。授業での発表：20点、課題への取り組み状況：40点、レポート：40点（合計100点）

●テキスト又は参考文献

伊藤邦雄『新・現代会計入門』日本経済新聞出版社

●受講上の留意点

財務会計に関する研究動向を調べ、専門雑誌・資料を精読してください。